

1. 基礎情報

自治体名	山梨県
担当部署名	多様性社会・人材活躍推進局 男女共同参画・外国人活躍推進課
電話番号	055-223-1539
ホームページ	https://www.pref.yamanashi.jp/danjo-kyosei/index.html



日本語モデル教室事業(対話活動の様子)

在留外国人数	令和5年6月現在	20,585	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.5	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (中国)	4,183	人	2位 (ベトナム)	3,773	人
				3位 (ブラジル)	2,923	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	外国人地域生活サポーター設置	
具体的な取組内容	<p>外国人が安心して暮らせる環境を整備するため、地域の身近な支援員として、外国人に対し相談対応や情報提供等を行うサポーターを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○任期: 年度末まで(再委嘱あり) ○人数: 最大30名 ○活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における悩み事等の相談対応 ・日常生活に関する情報提供や地域活動への参加促進 	

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	日本語教育の推進	
取組のポイント	「地域づくりの場」の構築を目指した日本語教室の取り組み	
具体的な取組内容	<p>外国人が地域の一員として生活し、安心して暮らせる環境づくりのため、「日本語モデル教室事業」を実施している。日本語モデル教室事業は、「身近な地域における日本語教室の機会を増やすとともに、その質を上げていく」ことを目標として、基礎自治体である市町村において持続可能な体制づくりに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本語モデル教室事業 「在留外国人の日本語コミュニケーション力向上」と「地域住民との学び合い・相互理解」の両輪を備えた教室を実践している。令和2年度の事業開始以降、これまで8市1村で実施され、在留外国人が日本語の学びと地域住民との対話活動を行った。(文化庁の「地域日本語教育総の総合的な体制づくり推進事業」を活用) ○日本語学習支援者(パートナー)研修会実施事業 本県の地域日本語教育の推進においては、日本語学習支援者をパートナーと呼称し、その役割を「国籍やその背景を問わず同じ市民として対等な立場で付き合うこと」をベースに、日本語教室で対話・協働活動を行う人としている。本研修事業ではパートナーを対象として多文化理解、傾聴、やさしい日本語など、日本語教室で外国人と対話による交流を実践するために必要となる知識、技術、態度の学び合いを行っている。 	